



ぶっくまもり
仏足守 700円

善光寺境内にある仏足跡の御守。本物そっくりな形がインパクト大!この御守を拝み、足腰健全を祈ります。



ぶくぶくまもり
福福守 600円

「牛に引かれて善光寺」をイメージさせる可愛らしさ。福がおとずれますようにと願いをこめます。



ゆい
結まもり 600円

いつでも身に付けられるブレスレット形の御守。家族・友人など、さまざまな良縁を祈念します。カラーも豊富!



かちまもり
勝守 700円

勝利を勝ち取るためのお守り。こそぞ!というスポーツ・受験・恋愛などのお願い事で、大切に持ち歩きましょう。



乳牛親子像

善光寺境内の少し外れに佇むのは乳牛の親子像「善子さん」と「光子さん」。優しい顔立ちで、多くの人々に親しまれています。



境内にはまだまだ見所があるわよ



善光寺に牛さんが!なぜ...

爪彫如来

歴代
回向柱納所

経蔵

輪廻塔

本堂

大香炉

仏足跡

山門

放生池

石畳

ぬれ仏

六地藏

仁王門



おやこ地藏

3.11の東日本大震災の追悼と復興を願い、岩手県陸前高田市の名勝・高田松原の松を用い、親子2体ずつ作られました。1体が善光寺、他の3体が陸前高田市の普門寺に安置されています。

問い合わせ

善光寺事務局

tel.026-234-3591

「石畳物語」

本堂へと一直線に延びる敷石の道は、山門までおよそ7777枚の石が敷き詰められています。二天門跡から山門下までは江戸中期、日本橋にある大商店の店主である大竹屋平兵衛の寄進、山門から本堂までの石畳は西光寺住職の寄進によって整備されました。大竹屋平兵衛の寄進にはある伝承が、遊び癖のある一人息子のあまりの放蕩ぶりに、ついに息子を勘当。家を出された息子は父親の金目当てで大竹屋に忍び込むのです。物音に気付いた平兵衛は盗賊だと思い、槍で突き刺しました。よく見るとそれはわが子の息絶えた姿。平兵衛は息子の菩提を弔うため、善光寺に参詣した時、雨にぬかるんだ道に足を取られながら本堂へ向かう参詣者を見て、平兵衛はこの敷石を寄進したとす。